

令和 8 年 10 月 2 日

令和 8 年第 3 回神奈川県議会定例会

環境・産業振興特別委員会資料

I	「GREEN×EXPO 2027」について	1
1	「GREEN×EXPO 2027」の概要	1
2	「神奈川県出展基本構想」の概要	1
3	県出展の準備状況（環境農政局）	2
4	県出展の準備状況（文化スポーツ観光局）	9
5	機運醸成の主な取組（環境農政局）	11
6	（仮称）令和9年に開催される国際園芸博覧会の準備 及び開催時における小型無人機等の飛行の禁止に関する 条例素案について	17
II	宇宙関連産業・ベンチャー等成長産業の取組について	20
1	宇宙関連産業振興の取組	20
2	ベンチャー支援の取組	24
3	「さがみロボット産業特区」の取組	29
4	企業誘致施策の取組	33
5	国際ビジネス振興の取組	39

I 「GREEN×EXPO 2027」について

令和9年に本県で開催される2027年国際園芸博覧会「GREEN×EXPO 2027」について、県は、開催地の自治体として出展を行うこととし、令和6年10月にとりまとめた「神奈川県出展基本構想」に基づき、準備を進めている。

そこで、「GREEN×EXPO 2027」に向けた県出展の準備状況及び機運醸成の取組状況等について報告する。

1 「GREEN×EXPO 2027」の概要

(1) 開催期間

令和9年3月19日から令和9年9月26日まで（192日間）

(2) 開催場所

旧上瀬谷通信施設（横浜市瀬谷区・旭区）

(3) 博覧会区域の面積

約100ha（うち会場区域 約80ha）

(4) 有料来場者数

1,000万人以上（想定）

(5) 開催主体

公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会

2 「神奈川県出展基本構想」の概要

(1) 出展のテーマ

ア メインテーマ

“Vibrant INOCHI” 一人ひとりの“いのちが輝く”

イ サブテーマ

(ア) 共生社会の実現

(イ) 持続可能な社会づくり

(ウ) 未病（ME-BYO）の改善

(2) 県出展の構成

ア 屋外展示

庭園を中心にテーマを分かりやすくイメージさせる、印象的なシンボル展示を行う。

イ 屋内展示

屋外展示と連動しながら、県が推進する施策をより深く理解してもら

えるよう、展示内容や手法を検討する。

ウ 催事

“Vibrant INOCHI” パフォーマンスを制作・上演するほか、県による主催催事、県内市町村やその他主体による催事を企画・実施する。

3 県出展の準備状況（環境農政局）

(1) 「GREEN×EXPO 2027推進本部」の開催

庁内関係機関相互の緊密な連携を図り、総合的かつ効果的に推進するため、知事を本部長とし、各局長等を構成員とする「GREEN×EXPO 2027推進本部」を開催し、各局の取組状況や県出展、機運醸成の今後の進め方等について共有した。

【開催状況】

令和7年度	開催日	内 容
第1回推進本部	令和7年6月9日	各局の取組状況等
第2回推進本部	令和7年9月3日	各局の取組状況等
第3回推進本部	令和7年12月22日	各局の取組状況等
第4回推進本部	令和8年2月4日	県出展エリアにおける屋外庭園及び屋内展示について
第5回推進本部	令和8年3月27日	前売りチケット販売促進等について

令和8年度	開催日	内 容
第1回推進本部	令和8年5月14日	各局の取組状況等
第2回推進本部	令和8年7月14日	各局の取組状況等
第3回推進本部	令和8年9月4日	各局の取組状況等

(2) 県出展の概要

ア 名称

展示施設と屋外庭園一体を「森（Forest）」と位置づけ、わかりやすく世界に向けて発信するため、『Vibrant INOCHI Forest かながわ館』（以下、「かながわ館」という。）と命名した。

イ 公式ロゴマーク

<デザインコンセプト>

県内33市町村を重ねる葉っぱでシンボル化し、県と市の一体感を華やかなデザインで表現。



**Vibrant
INOCHI
Forest**
かながわ館

ウ スタッフユニフォーム

- ・ ユニフォーム素材は、サブテーマの一つである「持続可能な社会づくり」を具現化したもので、トウモロコシなどの植物由来のポリ乳酸を原料とした地球にやさしい繊維素材「ピエクレックス」を主に使用。
 - ・ この素材は植物由来のため、製造時のCO₂発生量の抑制に貢献でき、閉幕後、ユニフォームは回収し、堆肥として再活用する。
 - ・ また、一部の生地には回収した服などをリサイクルして作られた循環型素材も採用しており、環境に優しいユニフォームとなっている。
- ※左が展示アテンダント、右が運営スタッフ



エ マスコットキャラクター

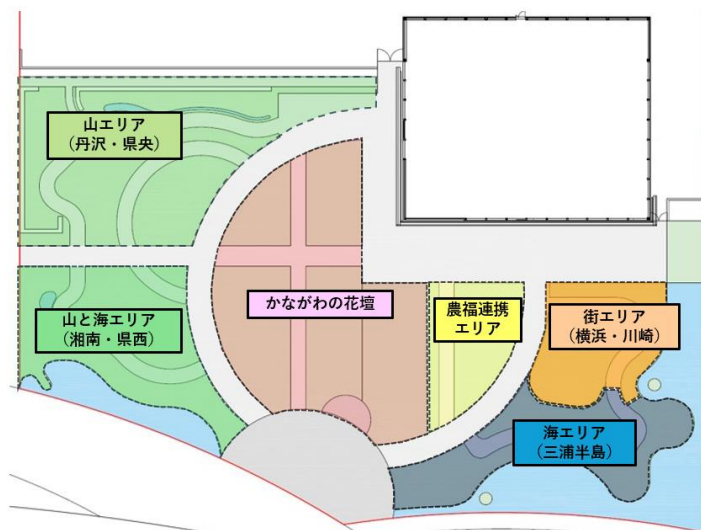
Vibrant INOCHIの木から生まれた「いのち」を象徴する葉っぱのキャラクター「VIBRANTS (バイブランツ)」と子どものニホンモモンガ「モモーン」を「かながわ館」のマスコットキャラクターとして設定し、県出展の広報や展示等に活用していく。



(3) 屋外庭園

ア 考え方

県内各地域の特色ある花や緑を植栽し、自然環境を再現することで、豊かで美しい神奈川県土を屋外庭園に落とし込む。



イ 植栽の規模

(ア) 植物の使用数量 (予定)

	分 類	品 目	本 数	備 考
樹 木	高 木	36	約 400	
	低 木	27	約 1,200	
苗 物	花 苗	88	約 71,200	5～9回植替え
	カラーリーフ類	51	約 11,300	

(イ) 本県ゆかりの展示植物

○県が育成や登録を行った品目・品種

ハナモモ「照手シリーズ」、サルスベリ「ディアシリーズ」、
カンキツ類「湘南ゴールド」「大津4号」、
ヤポンノキ「八剣枝垂れ」、
ウメ「十郎小町」、
無花粉ヒノキ「神奈川無花粉ヒ1号」(商標名;丹沢 森のミライ)

○県が産地である品目

花苗：パンジー・ビオラ、野菜類 キャベツ など

(ウ) かながわの花壇の移り変わり

庭園の中央「かながわの花壇」を季節ごとに県産の花苗を植え替えて展示。

3月 ナノハナ

4月 パンジー・ビオラ・チューリップ

5月 ペチュニア・カリブラコア

6月 ベゴニア・マリーゴールド

7～8月 ヒマワリ

(7月上旬は、かながわ花咲かスクールプロジェクトで植栽)

9月 キバナコスモス

ウ 農福連携に係る展示

(ア) アクアポニックス

魚の排泄物を活用し、障がい者が育てた花苗を育てる展示

(イ) レイズドベッド

車椅子でも作業ができる花壇

(ウ) インクルーシブ遊具

多様な来場者が利用可能な遊具の設置

エ スポット展示

出展を希望する市の意向を踏まえ、屋外庭園内に、約25㎡の展示スペースを確保し、各市の魅力を伝えるためのスポット展示を実施する。

オ 多様な参加

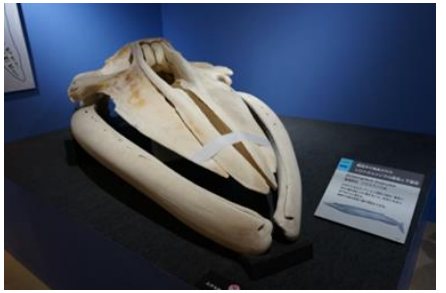
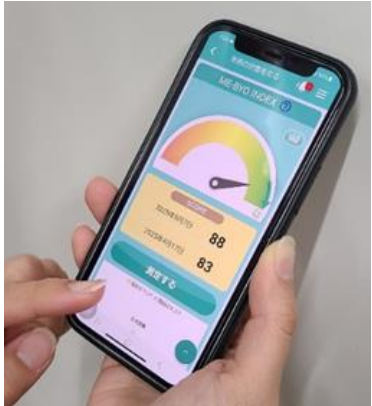
農業関係高校5校が協力して作り上げる展示や、高校生がデザインし、制作したベンチの配置を予定

(4) 屋内展示

ア 常設展示

県出展のサブテーマである「共生社会の実現」「持続可能な社会づくり」「未病の改善」を分かりやすく伝える常設展示を設置する。

サブ テーマ	ゾーン名称	コンテンツ	展示物例
持続可能な社会 づくり	地球がいき いきゾーン	・脱炭素社会に 向けた取組 ・プラごみゼロ に向けた取組 等	・デジタル地球儀  ・かながわプラごみゼロ 宣言の契機となったシロ ナガスクジラの頭骨標本 (イメージ)

			
未病の改善	からだところがいいききゾーン	・未病状態の見える化に関連する未病指標とME-BYO BRAND認定機器の紹介 ・未病改善レシピ等	・未病指標 (イメージ) 
共生社会の実現	みんながいいききゾーン	・「ともに生きる社会かながわ憲章」 ・ともいきアート等	・ともいきアート (イメージ)  GREEN×EXPO 2027賞 作品名:共に生きてほしいと願う

イ シアター

建物中央部に客席数約60席のシアターを設置し、出展テーマを体感できるオリジナル映像コンテンツを提供する。

作品タイトル：

Vibrant INOCHI Forest - あなたといのちと未来と -

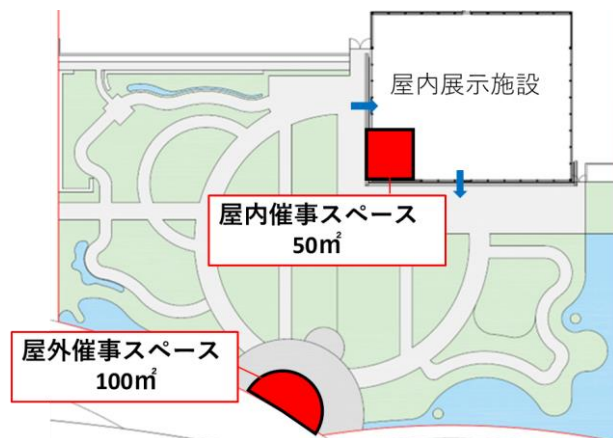
ウ スポット展示

屋内展示施設内に約25㎡の展示スペースを2区画用意し、県や市町村がそれぞれの取組や魅力を発信するためのスポット展示を実施する。

(5) 催事

出展テーマを分かりやすく発信し、また、神奈川県魅力をPRするため、県出展エリアに催事スペースを設け、郷土芸能やワークショップ、ダンス等の活動発表など、毎日、様々な催事を実施する。

ア 催事実施場所



イ 一般参加催事の募集（第1弾）

(ア) 募集期間 令和7年12月1日から令和8年1月30日まで

(イ) 実施場所 屋内・屋外催事スペース

(ウ) 採択数 174件

(エ) 催事内定者向け説明会

日時 令和8年6月19日

対象 一般参加催事の募集（第1弾）の内定者

ウ 一般参加催事の募集（第2弾）

(ア) 募集期間 令和8年6月1日から令和8年7月15日まで

(イ) 実施場所 屋内・屋外催事スペース及び主催事場（仮称）

(ウ) 応募件数 223件

（屋内・屋外催事スペース 164件、主催事場（仮称） 59件）

エ 高校生等参加催事の募集

(ア) 募集期間 令和8年6月1日から令和8年6月30日まで

(イ) 実施場所 屋内・屋外催事スペース及び主催事場（仮称）

(ウ) 応募件数 41件

（屋内・屋外催事スペース 19件、主催事場（仮称） 22件）

(エ) 採択数 41件

(6) 「環共」プログラム

	活動内容	募集期間	募集数	募集対象	活動時間
レッツグリーンアクション	環境と共に生きる社会をめざして自ら主体的に行動する団体・個人等が主体となって環境に関するワークショップや体験型展示などの活動体験を実施する	令和8年7月21日から令和8年10月2日まで	100組程度	環境活動を行っている又は環境活動を始めた団体、個人、企業、学校等	屋内施設：1日～最大7日間 屋外空間：1日～最大30日間
レッツグリーンクラス	地球規模の課題に関係する各分野の専門家が講師となって、分かりやすく楽しい環境に関連した入門講座を実施する	令和8年9月7日から令和8年10月16日まで	300講座程度	国内外の学術機関（大学等）、博物館、国際機関、企業等	半日または終日（1日）のいずれか

(7) ボランティアの募集

	活動内容	募集期間	応募総数	応募要件	活動時間
花・緑ガイドボランティア	来場者に向けて、会場内の花壇等の見どころを紹介	令和7年11月17日から令和8年1月9日まで	3,493件	令和9年4月2日時点で満15歳以上（中学生を除く） 8日以上活動可能な方	1日当たり4時間程度を想定（別途、活動前後30分ずつのミーティングあり）
植物管理ボランティア	会場内花壇等での花がら摘み・除草等サポート	令和8年2月5日から令和8年4月30日まで	14,269件	同上	同上
運営ボランティア	会場内外での来場者案内や運営サポート	令和8年2月5日から令和8年4月30日まで	14,917件	同上	同上

(8) スケジュール（予定）

令和8年4月15日	起工式の開催、着工
	「Vibrant INOCHI Forest かながわ館」名称発表
12月末	建築工事完了
令和9年1月～2月末	屋内展示の設置・施工
3月上旬	造園工事完了
3月19日	開幕

4 県出展の準備状況（文化スポーツ観光局）

(1) オリジナルミュージカル出展事業

ア 目的

県出展のメインテーマである“Vibrant INOCHI”を全世界からの来場者に分かりやすく伝えるため、オリジナルミュージカルを制作・上演する。

イ オリジナルミュージカルの概要

(ア) 作品名：ミュージカル「Vibrant INOCHI（バイブラント・いのち）」

(イ) キャッチコピー：未来へ輝け！いのちのハーモニー

(ウ) ストーリー概要：

横浜の女の子・ギャルビーとホッキョクグマのクーちゃん親子は、人気アイドルユニット「C02」のライブを心待ちにしていた。

しかしある日、突然の停電が起こり、北極の氷もどんどん溶けていく。原因は「C02」のファン、リーブスたちの熱狂だった。

「C02」の選択と、「自分も変わらなければ」と決意したギャルビーたちが起こした行動が、世界を大きく動かし始める！

失われた絆を取り戻し、みんなで未来を描けるのか。

環境問題を優しくユーモアたっぷりに描いた、希望のミュージカル。

(エ) 制作形態：舞台版・映像版の2形態で制作

(オ) 1回あたりの上演時間：45分程度

(カ) 主題歌：「星の子」

(2) ミュージカル以外の出展

主催事場（仮称）では、オリジナルミュージカルのほか、県の魅力をPRするコンテンツ等の出展準備も進めており、次のとおり、催事募集を実施した。

ア 一般参加催事

(ア) 募集期間：令和８年６月１日から７月15日

(イ) 対 象：県内の市町村

県内に本店又は支店、営業所を有する事業者
県内に所在地のある団体

(ウ) 応募件数：59件

(エ) 採択件数：６件

イ 高校生等参加催事

(ア) 募集期間：令和８年６月１日から６月30日

(イ) 対 象：県内に所在する県立・市立・私立の高等学校及び中等
教育学校の部活動等

(ウ) 応募件数：22件

(エ) 採択件数：22件

※ア、イともに文化芸術分野の有識者等から構成される審査会において、
提出された書類を審査し選考を行った。

(3) 今後のスケジュール（予定）

ア オリジナルミュージカル

令和８年９月～ ミュージカル映像版制作

12月頃 公演スケジュールの公表

令和９年２月～ 舞台版稽古

３月 開幕

イ ミュージカル以外の出展

令和８年10月頃 出演団体決定

コンテンツの実施日及び実施時間の決定

12月頃 公演スケジュールの公表

令和９年３月 開幕

5 機運醸成の主な取組（環境農政局）

(1) 知事による県外に向けたPR活動

各地方知事会議や各地で開催されるイベント等に参加するなど、知事が、GREEN×EXPO 2027をPRすることにより、県内だけでなく県外においても積極的に機運醸成を図っていく。

開催地	実施日	内 容
オンライン	令和8年4月23日	九都県市首脳会議への出席
北海道	令和8年5月9日	地元のテレビ及びラジオ番組への出演
沖縄県	令和8年5月22日	沖縄県大城副知事とのPR対談、取材対応
東京都	令和8年5月26日	関東地方知事会議への出席
滋賀県	令和8年5月28日	近畿ブロック知事会議への出席 地元のテレビ番組への出演
徳島県	令和8年6月5日	四国知事会議におけるメッセージ 動画放映
鳥取県	令和8年7月16日 ～7月17日	全国知事会議への出席、取組推進に関する決議 地元のテレビ番組への出演

(2) 「GREEN×EXPO 2027応援団」

本県にゆかりのある著名人や団体を中心に「GREEN×EXPO 2027応援団」を結成し、イベント等でPRを実施。

計35名、9団体（令和8年9月25日時点）

令和8年度新規就任状況

氏名、団体名	任 命
半日族_万博ありがとう 親娘 (GREEN×EXPO 2027を応援するXユーザー) <2名>	令和8年4月
ミュージカル『アニオー姫』メインキャスト ・田代万里生 ・音くり寿 ・ドー・ファン・ザ・ハン ・小野田龍之介 <4名>	令和8年5月

令和８年度の活動内容（令和８年９月２５日時点）

氏名、団体名	実 施 日	イベント名等
朝美 絢 桜木 みなと (宝塚歌劇団)	令和８年４月２８日	応援メッセージ動画
假屋崎 省吾	令和８年５月３日	横浜フラワー&ガーデン フェスティバル2026
(一社)日本ボーイ スカウト神奈川連盟	令和８年８月４日 ～１０日	第19回 日本スカウトジャンボリー
ドー・ファン・ザ・ハ ン(ミュージカル『ア ニオー姫』メインキ ャスト) 加藤 梨里香	令和８年９月１３日	ベトナムフェスタ in 神奈 川2026
船越 英一郎 橋本 はづき 柳井 麻希 (株)湘南ベルマーレ フットサルクラブ (公財)かながわトラ ストみどり財団 か ながわ緑の少年団	令和８年９月２３日	GREEN×EXPO 2027 開催半 年前記念イベント in かな がわ

(3) 県主催（共催）イベント

県主催（共催）イベントにおいて、GREEN×EXPO 2027のPRを目的とするブース出展やスタンプラリー等を実施。また、令和８年度からは折り紙ワークショップを開催。

令和６年度：５回実施（県庁本庁舎一般公開 等）

令和７年度：１１回実施（GREEN×EXPO 2027 開催１年前記念イベント in かながわ 等）

○ GREEN×EXPO 2027 神奈川県 開催半年前発表会

【実施日】

令和８年９月８日（火）

【項目】

- ・公式ロゴマークの決定
- ・マスコットキャラクター「バイブランツとモモーン」の誕生

- ・オリジナル映像作品をシアターで上映！
- ・常設展示内容の一部を公開！
- ・スタッフユニフォームのお披露目
- ・かながわ花咲かスクールプロジェクト始動！
～知事から子どもたちへ花苗贈呈～

○ GREEN×EXPO 2027 開催半年前記念イベント in かながわ

【実施日】

令和8年9月23日（水/祝）

【実施場所】

ダイナシティ ウェスト(小田原市中里)

【主な実施内容】

- ・トウUNKトウUNK&ミャクミャクのグリーティング
- ・ミュージカル「Vibrant INOCHI」の「踊ってみた」企画
- ・GREEN×EXPO 2027 応援団による連携：船越 英一郎氏、橋本 はづき氏、柳井 麻希氏、(株)湘南ベルマーレフットサルクラブ、(公財)かながわトラストみどり財団 かながわ緑の少年団
- ・折り紙トウUNKトウUNKワークショップ
- ・公式チケット販売 等

令和8年度の取組内容（令和8年9月25日時点）

イベント名等	実施日	内 容
農業技術センター施設公開	令和8年4月18日	PRブース 折り紙ブース
県庁本庁舎一般公開	令和8年5月3日	PRブース 折り紙ブース
KANAFANまつり (会場：そごう横浜)	令和8年7月7日	PRブース 折り紙ブース
GREEN×EXPO 2027神奈川県 開催半年前発表会（会場： 県庁本庁舎）	令和8年9月8日	上記欄外に記載 のとおり
ベトナムフェスタ in 神奈 川2026（会場：県庁本庁 舎）	令和8年9月13日	PRブース 折り紙ブース ステージイベント

GREEN×EXPO 2027 開催半年前記念イベント in かながわ（会場：ダイナシティ ウエスト）	令和 8 年 9 月 23 日	上記欄外に記載のとおり
---	-----------------	-------------

(4) 県有施設等でのイベント

県有施設等において、GREEN×EXPO 2027のPRを目的とする花植イベント等を実施。

令和 6 年度：7箇所で開催（大船フラワーセンター 等）

令和 7 年度：17箇所で開催（相模原公園 等）

令和 8 年度の取組内容（令和 8 年 9 月 25 日時点）

施設名	内容
花菜ガーデン	フォトスポット設置
大船フラワーセンター	フォトスポット設置、花壇植付け
おだわら諏訪の原公園	花壇植付け
恩賜箱根公園	初夏のバラ展
相模三川公園	プランター寄せ植えデザインコンテスト
相模原公園	公園プランター寄せ植えコンテスト GREEN×EXPO 2027 PRイベント
四季の森公園	壁面花壇花植え体験
茅ヶ崎里山公園	園内花壇花植え
津久井湖城山公園	ルピナス植栽体験
辻堂海浜公園	寄せ植え作り教室
七沢森林公園	コキア植付とミニほうき作り
保土ヶ谷公園	たねダンゴづくり
三ツ池公園	花植え体験
山北つぶらの公園	お茶摘み体験・スタンプラリー

(5) 多様な主体と連携した取組

市町村、団体等が主催（共催）するイベントと連携して、GREEN×EXPO 2027のPRを目的とするブース出展やスタンプラリー等を実施。また、令和 8 年度からは折り紙ワークショップを開催。

令和 6 年度：2 回実施（開成町あじさいまつり 等）

令和 7 年度：27 回実施（小田原梅まつり 等）

令和 8 年度 of 取組内容（令和 8 年 9 月 25 日時点）

イベント名等	実 施 日
第50回平塚市緑化まつり	令和 8 年 4 月 25 日・26 日
厚木市緑のまつり	令和 8 年 5 月 9 日
大磯オープンガーデン	令和 8 年 5 月 10 日
コトエ橋本オープニングイベント	令和 8 年 6 月 6 日・7 日
FLOWER Fes 2026 FINAL	令和 8 年 6 月 20 日・21 日
第74回湘南ひらつか七夕まつり	令和 8 年 7 月 4 日・5 日
こども霞が関見学デー	令和 8 年 7 月 29 日・30 日
第50回足柄金太郎まつり	令和 8 年 8 月 2 日
座間市ひまわりまつり	令和 8 年 8 月 15 日

(6) メディアの活用

令和 6 年度：2 回実施

令和 7 年度：10 回実施

※いずれも、デジタルサイネージ等による放映は含まない。

令和 8 年度 of 取組（令和 8 年 9 月 25 日時点）

番組名等	放送（放映）日
LIGHT UP KANAGAWA（FMヨコハマ）	令和 8 年 4 月 2 日
	令和 8 年 4 月 30 日
	令和 8 年 5 月 14 日
	令和 8 年 7 月 9 日
	令和 8 年 9 月 17 日
KANAGAWA Muffin（FMヨコハマ）	令和 8 年 9 月 12 日
カナフルTV（tvk）	令和 8 年 8 月 2 日
	令和 8 年 9 月 6 日
ごきげんようじ（STV）※ラジオ（北海道）	令和 8 年 5 月 9 日
どさんこWEEKEND（STV）※TV（北海道）	令和 8 年 6 月 13 日
オモロしが（BBC）※TV（滋賀県）	令和 8 年 6 月 19 日
スパイス!!（日本海テレビ）※TV（鳥取県）	令和 8 年 7 月 25 日

公式 SNS の開設

	アカウント名	URL	開設日
X	【公式】GREEN×EXPO 2027 Vibrant INOCHI Forest かながわ館	https://x.com/GE2027_Kanagawa	令和 8 年 8 月 17 日
Instagram	Vibrant INOCHI Forest かながわ館	https://www.instagram.com/ge2027_vifkanagawa/	令和 8 年 8 月 17 日

(7) シティドレッシング

県内主要駅等において、集中的なシティドレッシングを実施

令和 7 年度：J R 川崎駅等 19 箇所

令和 8 年度 of 取組内容

開催半年前の集中的なシティドレッシングとして、J R 川崎駅等の
県内主要駅 8 箇所で実施

実施場所	実施期間
J R 川崎駅	令和 8 年 9 月 21 日～ 9 月 27 日
J R 藤沢駅	令和 8 年 9 月 21 日～ 9 月 27 日
小田急海老名駅	令和 8 年 9 月 21 日～ 10 月 4 日
京急久里浜駅	令和 8 年 9 月 21 日～ 9 月 27 日
小田急小田原駅	令和 8 年 9 月 21 日～ 9 月 27 日
京王橋本駅	令和 8 年 9 月 21 日～ 9 月 27 日
小田急相模大野駅	令和 8 年 9 月 21 日～ 10 月 20 日
小田急新松田駅	令和 8 年 9 月 21 日～ 9 月 27 日

(8) P R 物品等の配布

市町村や県有施設にのぼり旗、ポスター等 P R 物品の配布を実施。また、県内団体に花壇用応援看板等を配布。

令和 6 年度：のぼり旗設置（県内 32 市町村、県有施設 36 か所）

カウントダウンボード設置（神奈川県民センター）

花壇用応援看板配布（県内 50 団体）

令和 7 年度：モニュメント、カウントダウンボード等設置（県庁舎）

花壇用応援看板等配布（県内 80 団体）

GREEN×EXPO 2027 特別仕様ナンバープレート交付（37 台）

令和 8 年度 of 取組内容

県内 32 市町村にポスター、パンフレット、のぼり旗及びトウungk トウungk パネル等を配布

県機関にのぼり旗及びトウungk トウungk パネル等を配布

(9) 折り紙トウungk トウungk プロジェクト

折り紙でトウungk トウungk を作成してもらい、GREEN×EXPO 2027 を応援する想いをつなげていく「折り紙トウungk トウungk プロジェクト」を推進するため、折り方動画を作成し、県公式 YouTube チャンネルに掲載。庁舎公開をはじめとした各種イベントなど、各地で折り紙ワークショップを開催。

「GREEN×EXPO 2027 開催半年前記念イベント in かながわ」において、折り紙トウungk トウungk に夢や未来への願いをメッセージとして書き、今後のシティドレッシング等に活用するとともに、GREEN×EXPO 期間中に「Vibrant INOCHI Forest かながわ館」で展示する参加型企画をスタート。

6 （仮称）令和 9 年に開催される国際園芸博覧会の準備及び開催時における小型無人機等の飛行の禁止に関する条例素案について

GREEN×EXPO 2027 の円滑な準備・運営を確保するため、警備上必要と考えられる期間、地域等における小型無人機等の規制に係る県条例を制定することを令和 8 年 6 月の当常任委員会に報告した。

このたび、条例の素案を作成したので、報告する。

(1) 条例概要に対する県民意見募集

ア 募集期間

令和8年7月21日～令和8年8月19日

イ 意見募集の周知

- ・ 県の窓口における配架
県政情報センター、各地域県政情報コーナー、
GREEN×EXPO推進本部室
- ・ 県のホームページによる情報提供

ウ 実施結果

寄せられた意見の件数 0件

(2) 条例の素案

ア 対象となる区域

- ・ 博覧会会場については、横浜市旭区及び瀬谷区内の博覧会協会が管理する区域を対象博覧会区域として指定する。
- ・ 必要に応じ、博覧会会場外の施設についても対象施設として指定し、その敷地又は区域を規制対象とすることができる。

イ 規制内容

知事が指定した期間における、対象区域上空の小型無人機等の飛行を禁止する。

ウ イの規制が適用されない場合

博覧会の運営や施設管理、公的業務に支障が生じないように、次に掲げる小型無人機等の飛行については規制の対象外とする。

- ・ 博覧会協会又はその同意を得た者が行う飛行
- ・ (博覧会会場外の施設を対象区域とした場合) 対象施設の所有者、管理者等又はその同意を得た者が行う飛行
- ・ 国又は地方公共団体が業務として行う飛行

エ イの規制が適用されない場合の手続き

- ・ 適用除外となる小型無人機等の飛行を行う場合は、あらかじめ公安委員会へ通報する必要がある。
- ・ 通報は、原則として飛行開始48時間前までに行わなければならない。

オ 関係機関との連携

条例の円滑な運用のため、知事、公安委員会及び博覧会協会は、それぞれ国及び地方公共団体の関係機関に対し、必要な情報を提供し、協力を求めることができる。

カ 円滑な準備及び運営の確保のための措置

- ・ 条例に違反する飛行が行われた場合は、警察官が飛行の中止等の必要な措置を命ずることができる。
- ・ 緊急の場合には、ドローン等の飛行の妨害や機器の破損等の必要な措置をとることができる。
- ・ 措置により損失を受けた第三者への補償について規定する。

キ 罰則

条例に違反して飛行を行った者又は警察官の命令に違反した者は、1年以下の拘禁刑又は50万円以下の罰金に処する。

(3) 今後のスケジュール

令和8年11月 県議会へ条例議案を提出

令和9年2月 条例の施行

II 宇宙関連産業・ベンチャー等成長産業の取組について

1 宇宙関連産業振興の取組

(1) 取組の概要

神奈川県においては、我が国宇宙開発の黎明期から現在に至るまで、多くの人工衛星・探査機（以下「衛星等」という。）が開発・製造されてきた。県内には、大型から小型に至る衛星等の研究開発・製造拠点が多数立地しているほか、衛星等向けの部品・素材の供給、設計・検査・運用等を担う先端技術企業・拠点群が集積している。

近年、日本政府は、世界の潮流を踏まえて、我が国宇宙産業の規模拡大を標榜しており（※）、神奈川県には、かかる成長を取り込むポテンシャルがある。

こうした状況を踏まえ、県は、まずは衛星等に焦点を当てながら、宇宙関連産業の振興に必要な施策を推進している。

※ 参考

- ① 宇宙基本計画（令和5年6月13日閣議決定）
（「2020年に4.0兆円となっている市場規模を、2030年代の早期に2倍の8.0兆円に拡大していく」）
- ② 当該計画に係る内閣府の試算
（宇宙機器産業約3,500億円→約6,000億円）
- ③ 「宇宙基本計画工程表改訂に向けた重点事項」（令和8年6月12日宇宙開発戦略本部）
（「2030年代早期に8兆円とする目標については、2030年の実現に前倒し」）

(2) 有識者会議

県は、宇宙関連産業の振興に必要な施策の方向性等について意見を聴取するため、「神奈川の宇宙関連産業の振興を考える有識者会議」（座長：白坂成功 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授、日本政府・宇宙政策委員会委員）（以下単に「有識者会議」という。）を設置して、令和7年8月21日より議論を開始した。

＜有識者会議の概要＞



令和7年8月21日 第1回有識者会議

神奈川の宇宙関連産業の振興を考える有識者会議

【構 成 員】	赤塚 剛文	マッハコーポレーション代表取締役社長
	新井 元行	Synspective代表取締役CEO
	荒木 慎介	三菱電機鎌倉製作所副所長
	大坪 正人	由紀精密代表取締役
	北澤 幸人	元神奈川県参与／学習院大学理学部客員研究員
	倉原 直美	インフォステラ共同創業者・代表取締役CEO
	白坂 成功	慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科教授
	中須賀真一	立命館大学総合科学技術研究機構教授
	野口 聡一	宇宙飛行士
	野中 朋美	早稲田大学経営システム工学科教授
	橋詰 卓実	三菱UFJ銀行宇宙イノベーション室長
	藤本 正樹	宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所長
	山口 耕司	オービタルエンジニアリング取締役社長
	米津 雅史	クロスユー事務局長

（50音順・敬称略）

【開催実績】	令和7年8月21日（第1回）	
	（主な議題）・神奈川の「強み」「勝ち筋」	など
	令和8年1月16日（第2回）	
	（主な議題）・自治体に期待される役割	など
	8月20日（第3回）	
	（主な議題）・「かながわ宇宙ビジョン」（案）	など

有識者会議は、令和8年8月20日までの3回にわたる議論を経て、同年9月3日に「かながわ宇宙ビジョン」をとりまとめた。

「かながわ宇宙ビジョン」には、総論、人工衛星、衛星データ・AI、持続可能性・資金、宇宙人材、産業の広がりという6のテーマごとに、世界の潮流、日本（全体・共通）の課題・方針、神奈川の現状・留意点が整理された上で、有識者会議の意見が示されている。

＜「かながわ宇宙ビジョン」（有識者会議とりまとめ）のポイント＞

総論			
◆神奈川の「強み」「勝ち筋」は明らかに人工衛星。 注：神奈川では日本の宇宙開発の黎明期から現在に至るまで多くの衛星等が開発・製造されてきた歴史があり、衛星産業が集積。 ◆神奈川県として、衛星に携わるステークホルダーを広く「束ねて」ほしい。モノづくり企業・事業所、研究機関、行政に加えて、衛星データを利用しようとする者や、金融機関などビジネスの収益性や持続可能性に着目している者を含め、様々な階層で意見交換ができることが大切。			
人工衛星	衛星データ・AI	宇宙人材	産業の広がり
◆特に米国、特に小型衛星は「垂直統合」が進む。対抗が難しい日本は「水平分業」に進む。協力関係の作り込み・ネットワークが大切。 ◆衛星を構成するコンポーネント・アーキテクチャのサプライチェーン強靱化は、神奈川が最優先で取り組むべき課題。 ◆日本では衛星コンポーネントメーカーがほとんど育っていない。衛星スタートアップは増えたが、海外製を買って搭載している。神奈川で育てることは理に合う。	◆神奈川であれば、衛星のアップストリーム（つくる側）関係者と、ダウンストリーム（つかう側）関係者がコミュニケーションを取り易い。 ◆自治体は「この地域（エリア）で何ができるか」という視点になりがち。だが「小さなエリア」では事業は成立しない。 ◆よりよいソリューションを「域内」でつくり、「域外や海外にも」広げて収益機会を確保する姿勢が重要。 ◆AIを施策に取り入れることが大事。	◆歴史的な衛星産業集積の結果、神奈川には、北部から南部まで、現役・OBの衛星専門人材が揃っている。衛星スタートアップも神奈川に拠点を置くことで、こうした人材を迎えることができる。 ◆他の産業分野からの人材確保がポイント。「宇宙スキル標準」の活用が大切。	◆長期スパンだが、民間人が宇宙に行く時代になれば生活に必要なものはすべて宇宙でも必要。宇宙関連産業が大きくなるというより、既存産業が宇宙にも出荷するようになる。 ◆県が取り組むのは「産業として儲かる」からか。「ある種の豊かさをもたらされる」からか。後者も重要。
持続可能性・資金			
◆産業を「根付かせる」ためには、お金を「借りても返せる」状態で成長させることが重要。 ◆多くの企業・事業所が宇宙に参入しているが、存続するためには、いまから継続顧客を探しておく必要。 ◆地上センサー・インフラが整備されている日本では、需要は大きくなりにくい。ターゲットとする国を絞った上で、海外にも目を向けるべき。			
◆政府（国）との役割分担を意識し、産業を効果的・効率的に振興すべき。 ◆まずは神奈川の「強み」「勝ち筋」である衛星にフォーカス。同時に、宇宙を「地域の魅力」とする観点にも留意。 施策例 1) 産業の現場：①企業の交流（共創）・参入の後押し ②衛星データ（AI）利用の後押し ③海外市場へのアプローチの後押し 2) 人材の確保・育成 3) 「夢を与える題材」としての宇宙・「宇宙時代」到来に向けた取組			

(3) 主な事業の概要

県は、令和7年度より宇宙関連産業の振興の取組を本格化したところ、ここでは、同年度より継続している事業を中心に、主な事業の概要を述べる。

ア 総合的な機運醸成

(イ) 宇宙関連産業参入促進等事業

一般来場者、宇宙関連企業（参入を目指す企業を含む。以下同じ。）等に対して宇宙ビジネスの可能性等を広く発信するカンファレンスである「神奈川宇宙サミット」（以下単に「宇宙サミット」という。）を開催している。

＜宇宙サミット 2026 の様子＞



オンライン含め、延べ

参加者 約3,300名

- 来 場 約1,600名
- オンライン 約1,600名

※いずれも「延べ」

※「オンライン」は開催日18時時点の視聴回数



初回となった令和7年度の宇宙サミット2026は、令和8年2月5日にアニメヴェルセルみなとみらい横浜（横浜市中区）において開催され、オンライン参加を含めて延べ約3,300名が参加した。

令和8年度は、令和9年2月4日に宇宙サミット2027の開催が予定されているほか、販路開拓のための展示会への企業出展を支援している。

イ 産業の現場の支援

(ア) 宇宙関連企業交流拠点事業等

宇宙関連企業、大学・研究機関、金融機関、支援機関、自治体等の交流を促進し、連携強化等を図るため、交流拠点「かながわスペース・ヴィレッジ (KANAGAWA Space Village)」(相模原市緑区)を設置・運営している。

令和7年12月23日に開設したコワーキングスペース等について、令和8年8月31日時点の利用登録者は約390名、近隣のラボスペースを含めた累計利用者は、同日時点で延べ約3,400名である。

令和8年度は、このほか、衛星等の開発等に必要な振動試験設備を整備する(振動試験設備モデル設置事業)。

＜かながわスペース・ヴィレッジの概要＞



コワーキングスペース



ギャラリースペース
(一般向け展示空間)



宇宙関連企業交流拠点

**KANAGAWA
Space Village**

【開設】令和7年12月23日

【所在】相模原市緑区橋本3-28-1 ミウヰ橋本2階

※JR橋本駅徒歩2分・京王橋本駅徒歩4分

【営業】月曜日～金曜日 9時00分～20時00分

※土曜日・日曜日・祝日・年末年始休業

【機能】コワーキングスペース、ギャラリースペースなど

※別途、近隣にラボスペースも設置

【対象】・宇宙関連企業（参入を目指す企業など含む）

・大学・研究機関、金融機関、支援機関、自治体など

※無料（利用登録が必要）

【取組】・コーディネーターによる相談対応

・宇宙関連産業の紹介セミナー

・利用者同士の交流イベント

・宇宙人材の確保・育成イベント

(イ) 衛星データビジネス利用促進支援事業

宇宙空間の利用による通信、観測、測位等は重要性をさらに増しており、幅広い分野において宇宙ビジネスとそのサービスの活用が広がりを見せている。こうした中で、県は、衛星データを用いた新たなビジネスモデルを創出しようとする県内企業等のプロジェクトを募集し、それらの実施に係る費用の支援、専門家による助言等を通じ、事業化に向けた後押しを行っている。

令和8年度は、衛星データの解析等へのAIの活用や、県政課題の解決に資する取組の支援枠を新設した上で、8件のプロジェクトを採択している（令和7年度は3件）。

ウ 人材の確保・育成

令和8年度は、宇宙関連産業に従事する人材の確保・育成に向けて、業界のイメージ明確化を図るため、業界で求められるスキルを体系的に整理した「宇宙スキル標準」を活用したセミナーを開催するとともに、学生等を対象とする出張講座を実施する（宇宙人材確保・育成事業）。

エ 「宇宙時代」の到来に向けた取組

宇宙を身近に感じられる機会を子どもに提供するための広報等を行っている（宇宙関連産業広報事業）ほか、令和8年度は、新たに、展示会への出展機会の提供等により、資源の利用に制約がある宇宙環境での技術を地上における持続可能なくらしに活用する「宇宙と地上のデュアルユース型ビジネス」の創出に向けた取組を支援している（デュアルユース型ビジネス創出支援事業）。

2 ベンチャー支援の取組

(1) 取組の概要

県経済を牽引するベンチャー企業の創出と成長を促進するため、起業家の創出拠点「HATSU 鎌倉」、「AGORA Hon-atsugi」、「ARUYO ODAWARA」や、ベンチャー企業の成長促進拠点「SHIN みなとみらい」において、ベンチャー企業の成長段階に応じた支援プログラムを実施している。

ベンチャー支援のかながわモデル



(2) 支援プログラムを実施している拠点の概要

ア 起業家の創出拠点

起業準備者をベンチャー企業へ育てていくため、県内3か所の支援拠点において、起業家や起業準備者によるコミュニティの形成を推進するとともに、起業に向けた実践的な支援プログラムを提供している。

(ア) HATSU 鎌倉

所在地	鎌倉市大町1丁目9-22
開設年月日	令和元年11月26日
施設の機能	シェアオフィス、会議室
施設運営者	株式会社あゆみの

(イ) AGORA Hon-atsugi

所在地	厚木市泉町1-1 本厚木ミロード1（6階）
開設年月日	令和4年7月15日
施設の機能	シェアオフィス、会議室
施設運営者	株式会社小田急SCディベロップメント

(け) ARUYO ODAWARA

所在地	小田原市栄町2-12-10 1階
開設年月日	令和4年9月30日
施設の機能	シェアオフィス、会議室
施設運営者	一般財団法人 八三財団

イ ベンチャー企業の成長促進拠点

ベンチャー企業を育成し、成長を加速させるため、支援拠点を横浜市内に設置し、ベンチャー企業等によるコミュニティの形成を推進するとともに、企業間の連携プロジェクトの創出を図るため、ベンチャー企業と県内企業との交流の場を提供している。

SHIN みなとみらい

所在地	横浜市西区みなとみらい3丁目7-1 オーシャンゲートみなとみらい 10階 WeWork オーシャンゲートみなとみらい内
開設年月日	令和元年11月1日
施設の機能	県専用スペース（33席）、WeWork 内の会議室 等
施設運営者	神奈川県

(3) 支援プログラムの概要

ア 次世代起業家創出事業

若年層による起業を促進するため、県内にキャンパスを有する大学、起業支援に積極的な市町村や起業支援機関等と連携し、起業家交流会、ビジネスプラン作成講座、ビジネスプランコンテストを実施する。

<実施状況>

区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度(見込)
起業家交流会参加者(名)	726	1,110	(1,200)
ビジネスプラン作成講座参加者数(名)	186	214	(150)
ビジネスプランコンテスト参加者数(名)	93	89	(90)

<令和8年度の取組>

- ・ 先輩起業家との交流会の実施（5月～10月）
- ・ ビジネスプラン作成講座の実施（8月～9月）
- ・ ビジネスプランコンテストの実施（12月）

イ HATSU 起業家創出事業

鎌倉、厚木、小田原の各支援拠点において、起業準備者に対して起業に向けた実践的な支援プログラムや、先輩起業家等との交流の機会を提供する。

<実施状況>

区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度(見込)
集中支援プログラム 支援者数(名)	37	46	(40)
事業化着手数(件)	26	33	(28)

<令和8年度の取組>

- ・ 有望な起業準備者に対する短期集中支援（チャレンジャー制度）の実施（7月～3月）

ウ 育成期ベンチャー支援事業（かながわ・スタートアップ・アクセラレーション・プログラム）

ベンチャー企業を育成するため、ベンチャー企業の事業推進に資する講座を開催するとともに、社会課題の解決に取り組み、今後の成長が見込める有望なベンチャー企業等を対象に短期伴走型支援のアクセラレーションプログラムを実施する。

<実施状況>

区分	令和6年度		令和7年度		令和8年度(見込)	
講座実施回数(回)	2		4		(5)	
アクセラレーション プログラム支援企業数(者)	シード編	11	シード編	10	シード編	10
	アーリー編	10	アーリー編	10	アーリー編	(10)

<令和8年度の取組>

- ・ 起業家精神及びスキルを養う講座の開催（4～5月、8月）
- ・ アクセラレーションプログラム（シード編）の実施（6月～9月）
- ・ アクセラレーションプログラム（アーリー編）の実施（10月～3月）

エ ベンチャー事業拡大促進事業（ビジネスアクセラレーターかながわ（BAK）／

エール”ガバメント×ベンチャー”アライアンスかながわ（YAK））

ベンチャー企業の成長を加速させるため、企業間連携の促進を目的として、ベンチャー企業や大企業、支援機関等が参画する協議会を運営するとともに、ベンチャー企業と大企業による連携プロジェクトを創出し、実証事業等を支援する（BAK）。

また、ベンチャー企業の成長促進と行政課題の解決を図るため、ベンチャー企業と自治体との連携プロジェクトを創出し、実証事業等を支援する（YAK）。

さらに、ベンチャー企業による脱炭素化の取組を促進するため、脱炭素の推進に資する新たなサービス等の開発・実証に対して支援を行う。

<実施状況>

区分	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度 (見込)
協議会加入者数（者）＜累計＞	644	913	1,194	(1,400)
連携プロジェクト創出数（件）	26	32	39	(32)

<令和8年度の取組>

- ・ 年間を通じて企業間のマッチングを行い、連携プロジェクトの創出を支援（6月～3月）
- ・ 大企業や行政と連携して、脱炭素推進など社会課題の解決を目指すベンチャー企業からプロジェクトを募集し、新たなサービス等の開発・実証を支援するため、マッチングイベントや個別伴走支援などの実施（6月～3月）

オ ベンチャー限定クラウドファンディング「かなエール」の運営及び
ベンチャー資金調達支援事業

民間のクラウドファンディングサービス企業と連携し、新規事業に挑戦するベンチャー企業に対して、クラウドファンディングによる資金調達やテストマーケティングの機会を提供する。

また、社会課題解決に取り組むベンチャー企業の資金調達を支援し、事業成長を促進するため、資金調達に関する相談対応や、金融機関・ベンチャーファンド等の紹介・マッチングを行う。

<実施状況> ※令和7年度から

区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (見込)
クラウドファンディング掲載 プロジェクト数（件）	5	4	4	(5)
資金調達相談・支援対応件数 (件) ※	-	-	52	(60)

<令和8年度の取組>

- ・ 「SHIN みなとみらい」において資金調達の相談対応や投資家等とのマッチングイベントを実施（4月～3月）
- ・ クラウドファンディングに取り組む企業を支援（4月～3月）

カ ベンチャー支援情報発信・PR事業

県のベンチャー支援の取組の認知度を向上させるため、県や市町村等のベンチャー支援情報を掲載するプラットフォームにおいて、一元的に情報を発信するとともに、ベンチャー企業や大企業、投資家等が参加する1,000名規模のイベントを行う。

<実施状況>

区分	令和7年度	令和8年度(見込)
情報発信数(回)	555	(860)
イベント来場者数(名)	1,213	(1,000)

<令和8年度の取組>

- ・ ベンチャー支援情報サイトの運用(4月～3月)
- ・ ベンチャー情報発信イベントの開催(1月)

キ 市町村連携ベンチャー支援事業

県域全体で効果的に起業家の創出とベンチャー企業の育成を図るため、横浜市と連携して、若年層や外国人などへの起業支援を行うとともに、相模原市と連携して、リニア駅開業予定の橋本駅周辺エリアを中心とした、産官学が参加するベンチャー支援のためのコンソーシアムを設置・運営している。

<実施状況>

区分	令和7年度	令和8年度(見込)
県・市の連携事業によるイベントの実施回数(回)	12	(12)

<令和8年度の取組>

- ・ 多様な人材が参加する起業スクールの開催(10月～12月)
- ・ 外国人起業家向けスタートアップビザの相談対応(4月～3月)
- ・ 橋本駅周辺エリアを中心としたベンチャー支援のためのコンソーシアムの運営とベンチャー企業の伴走支援(4月～3月)

3 「さがみロボット産業特区」の取組

(1) 取組の概要

「さがみロボット産業特区」（以下「本特区」という。）では、生活支援ロボットの実用化・普及を通じた県民生活の安全・安心の確保及び地域社会の活性化に取り組んでおり、ロボットが社会に溶け込み、いのちや生活を支えるパートナーとして活躍する「ロボットと共生する社会」の実現をめざしている。

第3期計画（令和5～9年度）では、本特区内の市町等と連携し、中小企業のロボット産業への参入支援と、ロボットの社会実装の加速化に重点的に取り組んでいく。

(2) 数値目標と進捗状況

国から認定された第3期計画（令和5～9年度）において、6つの数値目標を設定している。

○特区発ロボットの商品化状況(累計)

令和8年3月31日現在(件)

	第2期	第3期				
	平成30～ 令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
目標値	25	6	12	18	24	30
実績値	27	12	33	47	－	－

○実証実験等の実施件数(累計)

令和8年3月31日現在(件)

	第2期	第3期				
	平成30～ 令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
目標値	200	60	120	180	240	300
実績値	289	55	142	232	－	－

○企業誘致施策等を活用したロボット関連企業の件数(累計)

令和8年3月31日現在(件)

	第2期	第3期				
	平成30～ 令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
目標値	35	5	11	18	26	35
実績値	19	4	16	22	－	－

○生活支援ロボットに関する特区の取組に参加する県内中小企業の数(累計)

令和8年3月31日現在(社)

	第2期	第3期				
	平成30～ 令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
目標値	100	25	55	90	130	170
実績値	67	10	98	156	－	－

○生活支援ロボットの導入施設数(累計)

令和8年3月31日現在(箇所)

	第2期	第3期				
	平成30～ 令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
目標値	250	100	200	300	400	500
実績値	359	21	250	343	－	－

○生活支援ロボットを体験する取組に参加した人数(累計)

令和8年3月31日現在(人)

	第2期	第3期				
	平成30～ 令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
目標値	90,000	10,000	25,000	40,000	60,000	90,000
実績値	82,435	23,404	97,447	185,270	－	－

(3) 数値目標の上方修正

数値目標のうち、「特区発ロボットの商品化状況」及び「生活支援ロボットを体験する取組に参加した人数」については、第3期計画の目標値を大幅に上回っていることを踏まえ、下表のとおり変更を予定している。

○特区発ロボットの商品化状況(累計)

	令和8年度	令和9年度
変更前	24	30
変更後	62	77

○生活支援ロボットを体験する取組に参加した人数(累計)

	令和8年度	令和9年度
変更前	60,000	90,000
変更後	270,000	350,000

(4) 令和8年度の主な取組

ア 参入促進

(ア) ロボット関連企業の参加促進の取組

県内中小企業等のロボット製品及び技術シーズをロボット関連の展示会や特区ホームページ内のマッチングサイトを通じて積極的に発信することにより、企業の販路拡大やロボット関連産業への参入を促進し、企業間の交流やマッチングを図る。

(イ) 企業誘致の推進

企業誘致施策「セレクト神奈川NEXT」等のインセンティブ（企業立地促進補助金、不動産取得税の不均一課税、低利融資、企業誘致促進賃料補助金等）や、企業へのロボット実用化支援の取組などを通じて、ロボット関連企業の誘致に引き続き取り組んでいく。

イ 開発・実用化促進

(ア) 介護ロボット実用化促進事業

介護施設、在宅介護が抱える課題を解決するため、介護現場に適したロボット（ICT 機器等を含む）の試験導入及び効果検証を行う。また、検証結果を分析することで、実用化に向けた改善につなげ、介護ロボットの改良・開発を促進する。

(イ) プレ実証フィールドの運営

平成26年度に相模原市南区の元県立新磯高等学校を活用して「プレ実証フィールド」を開設した。ドローン実験用ネット、実験用模擬道路などの設備を備え、本格的な実証実験を行う前に模擬的な環境でロボットの完成度を高める「プレ実証（実験）」の場として提供している。

ウ 導入支援

(ア) ロボット実装促進事業

ロボットの実用化と普及を促進するため、ロボット実装促進センターにおいて、施設とロボットのマッチング及び実装をワンストップで支援する。併せて、より現場のニーズに即したロボットの開発・改良を支援する。

(イ) ロボット導入支援事業

本特区の取組を活用して商品化された生活支援ロボットについて、個人や民間施設等への導入の促進を図るため、ロボットの導入に対して補助する。

エ 普及・定着

(7) ロボット企業交流拠点事業

企業間交流とロボットの普及を促進するため、本特区内に、ロボット企業や地域の住民等が利用できる交流拠点を設置（相模原市橋本駅近隣と藤沢市藤沢駅近隣の計2か所）し、企業向け商談会を開催するとともに、来場者向けにロボットに触れる機会を提供する。

(イ) ロボット体験機会の提供

県内で行われる産業普及のイベント等において、生活支援ロボットを体験できる機会を設け、普及啓発を図る。

(ウ) ロボット見える化推進事業【令和8年度新規事業】

県庁舎内やロボットの活用が見込まれる県立施設へのロボットの導入や、イベント等における最新鋭ロボットの実演により、県民のロボット社会到来の気運を身近に感じてもらうきっかけづくりとする。

4 企業誘致施策の取組

(1) 取組の概要

県では、県内経済の活性化と雇用の創出を図るため、令和6年4月に支援内容を拡充した企業誘致施策「セレクト神奈川NEXT」により、県内への企業立地を促進している。

(2) 「セレクト神奈川NEXT」実績（令和元年11月～令和8年8月末時点）

区 分	大企業	中小企業	合 計 [] は県内再投資 (内数)
企業立地支援事業	45 件	116 件	161 件 [143 件]
企業誘致促進賃料補助事業	2 件	20 件	22 件 [4 件]
小 計	47 件	136 件	183 件 [147 件]
ワンストップサービス	12 件	115 件	127 件 [28 件]
合 計	59 件	251 件	310 件 [175 件]

【参考】地域別立地支援件数（ワンストップサービスを除く）

区 分	横浜	川崎	相模原	横須賀 三浦	県央	湘南	県西	合計
立地支援件数	58 件	21 件	25 件	13 件	22 件	31 件	13 件	183 件

(3) 新かながわグランドデザインK P I 進捗状況（令和8年8月末時点）

企業立地支援件数（計画期間中の累計）

区 分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
目標	50	100	150	200
実績	51	102	114	—

(4) 企業立地促進補助金に係る債務負担行為の状況（令和8年8月末時点）

施策取組期間	限度額	補助見込み額
①令和元年11月～令和6年3月	214 億円	182 億 5,524 万円
②令和6年4月～令和10年3月	206 億円	79 億 1,388 万円

※ 補助見込み額については、①は取組期間を終え今後の増加はなく、②は今後の新規事業認定により増加していく。

(5) 補助金の交付状況（令和元年11月～令和7年度）

区 分	累計額
企業立地促進補助金	25 億 6,357 万円
企業誘致促進賃料補助金	5,996 万円
企業立地促進融資補助金	11 億 9,715 万円
合 計	38 億 2,068 万円

(6) 共生社会の実現に向けた取組（令和8年度～）

共生社会の実現に資する次の認証制度について認定を受けた中小企業が、企業立地支援事業を活用する場合、補助額を上乗せ（100万円）して交付する。

ア 対象となる認証制度

(7) 「障がい児・者とともに生きる社会の実現」に係る制度

- ・かながわ障害者雇用優良企業（県）
- ・もにす認定（厚生労働省）

(4) 「ジェンダー平等社会の実現」に係る制度

- ・プラチナえるぼし認定（厚生労働省）
- ・プラチナくるみん認定（厚生労働省）

イ 想定される活用例

- ・バリアフリーストイレの整備
- ・手すり・スロープの設置
- ・女性用更衣室の整備

(7) 企業立地支援事業等の認定事業所による経済的効果等

認定企業に対し、経済的効果等を確認するため、県内企業への発注状況等の調査を実施している。

ア 調査概要

(7) 調査方法

アンケート調査及び聞き取り（令和7年9月に実施）

(4) 調査対象事業所

企業立地支援事業等の認定事業所 146 件
（大企業 37 件・中小企業 109 件）

(7) 調査に回答した事業所 146 件

イ 調査結果の概要

(ア) 設備投資における発注実績

区 分		令和2年～令和7年9月末（累計）	比率
件数	総発注件数	17,244 件	100%
	うち県内企業への発注件数	7,903 件	46%
発注額	総発注額	4,719 億 4,900 万円	100%
	うち県内企業への発注額	2,632 億 5,900 万円	56%

(イ) 操業における発注実績

a 本業での発注実績

区 分		令和2年～令和7年9月末（累計）	比率
件数	総発注件数	1,944,913 件	100%
	うち県内企業への発注件数	777,039 件	40%
発注額	総発注額	6,795 億 2,900 万円	100%
	うち県内企業への発注額	1,584 億 4,000 万円	23%

b 管理運営・福利厚生での発注実績

区 分		令和2年～令和7年9月末（累計）	比率
件数	総発注件数	25,925 件	100%
	うち県内企業への発注件数	14,236 件	55%
発注額	総発注額	277 億 1,600 万円	100%
	うち県内企業への発注額	147 億 400 万円	53%

(ウ) 設備投資と操業における発注実績の合計（(ア) + (イ)）

区 分		令和2年～令和7年9月末（累計）	比率
発注額	総発注額	1 兆 1,791 億 9,300 万円	100%
	うち県内企業への発注額	4,364 億 400 万円	37%

(エ) 雇用に関する実績（事業所数 124 件）

区 分	人 数
正社員数	16,832 人
正社員以外の社員数	3,587 人
雇用者総数（正社員＋正社員以外）	20,419 人

<参考>

区 分	人 数
上記のうち新規採用正社員数の累計	3,382 人
上記のうち県外の事業所から転入した正社員数の累計	3,130 人

(8) 県税の増収効果（令和 8 年 1 月末時点）

企業立地支援事業等の認定事業所における県税の増収影響額について、新規立地・再投資による増加従業者数等と課税実績を基として算定した。

税 目	令和 2 年度～令和 7 年度（累計）
個人県民税	7 億 7,810 万円
法人二税	8 億 9,297 万円
不動産取得税	11 億 1,082 万円
合 計	27 億 8,189 万円

(9) これまでの企業誘致施策の実績について（総括）

本県はこれまで、「インベスト神奈川（平成16年度～21年度）」、「インベスト神奈川2ndステップ（平成22年度～27年度）」、「セレクト神奈川100（平成28年度～令和元年度）」及び「セレクト神奈川NEXT（令和元年11月～）」の各企業誘致施策により、取組を進めてきた。これらの施策による実績等は次のとおりである。

ア 立地支援件数

区 分	件数(うち県外・国外からの立地)
インベスト神奈川	171件(63件)
インベスト神奈川2ndステップ	192件(68件)
セレクト神奈川100	180件(110件)
セレクト神奈川NEXT	310件(135件)
合 計	853件(376件)

イ 助成額及び経済的効果

区 分	認定 事業所数 ※1 (うち撤退数)	助成額等※2 (後年度負担額(内数))	発注額 ※3	うち県内企業 への発注額 (県内割合)
インベスト 神奈川	80件 (2件)	686億2,559万円 (－)	7兆3,515億 8,000万円	2兆8,669億 4,100万円 (39%)
インベスト 神奈川2nd ステップ	99件	39億9,199万円 (－)	2兆3,713億 6,800万円	6,225億 9,200万円 (26%)
セレクト 神奈川100	113件 (1件)	113億6,301万円 (37億451万円)	1兆2,461億 2,600万円	5,370億 8,400万円 (43%)
セレクト 神奈川 NEXT	183件	284億3,093万円 (235億8,347万円)	1兆1,791億 9,300万円	4,364億 400万円 (37%)
合 計	475件 (3件)	1,124億1,152万円 (272億8,798万円)	12兆1,482億 6,700万円	4兆4,630億 2,100万円 (37%)

※1 施設整備等助成制度、産業集積支援事業認定制度及び企業立地支援事業認定制度等を適用した事業所数

※2 誘致事業所に対する支援額（助成金・補助金、賃料補助金、融資事業費補助、奨励金、不動産取得税等軽減）。助成金・補助金の後年度負担額を含む。

※3 誘致事業所による設備投資と操業開始後10年までの発注実績の累計

ウ 雇用実績

区 分	事業所数 ※	正社員数	正社員以外の 社員数	合計
インベスト神奈川 2ndステップ	61 件	15,563 人	2,317 人	17,880 人
セレクト神奈川100	86 件	14,677 人	2,411 人	17,088 人
セレクト神奈川 NEXT	124 件	16,832 人	3,587 人	20,419 人
合 計	271 件	47,072 人	8,315 人	55,387 人

※ 各々の助成等制度を適用した事業所のうち操業している事業所数（ただし助成金の交付が終了した事業所を除く。）

エ 県税の増収効果

区 分	増収影響額 ※1※2
インベスト神奈川	514 億 1,459 万円
インベスト神奈川 2ndステップ	266 億 3,876 万円
セレクト神奈川100	106 億 8,118 万円
セレクト神奈川NEXT	27 億 8,189 万円
合 計	915 億 1,643 万円

※1 各々の助成等制度を適用した事業所の県税（個人県民税、法人二税及び不動産取得税）の増収影響額について、新規立地・再投資による増加従業者数等と課税実績を基に算定

※2 増収影響額は、誘致事業所における操業開始後10年までの累計

5 国際ビジネス振興の取組

(1) 外国企業の誘致

ア 県の支援により誘致した外国企業 (件)

地域	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (8月31日現在)
アジア	12	9	3
北米	3	4	1
欧州・その他	3	3	1
合計	18	16	5

イ 主な取組の状況

(ア) かながわビジネスサポートセンター（IBSCかながわ）の運営

県内に初めて拠点を設置する外国企業等が拠点立上げの際に利用できる無料スタートアップオフィスの提供をはじめ、対日投資アドバイザーによるビジネス立上げの各種サポートを提供

- ・ 部屋数：4 部屋
- ・ 利用状況：延べ2 社（8 月 31 日現在）
（参考 令和7 年度：延べ2 社）

(イ) 外国企業向けレンタルオフィスの運営

外国企業誘致促進のため、産業貿易センタービル内にレンタルオフィスを整備し、外国企業に有償で貸付

- ・ 部屋数：6 部屋
- ・ 利用状況：延べ4 社（8 月 31 日現在）
（参考 令和7 年度：延べ7 社）

ウ 外国企業立上げ支援補助金

外国企業の立上げを支援するため、専門家によるコンサルティングや会社設立手続き等に係る費用の一部を補助

- ・ 対象分野：未病関連産業、ロボット関連産業、脱炭素関連産業、観光関連産業、先端素材関連産業、先端医療関連産業、IT／エレクトロニクス関連産業、輸送用機械器具関連産業、地域振興型産業（横須賀三浦地域及び県西地域のみ）
- ・ 補助額：拠点設立時の経費の2 分の1（上限200 万円）
- ・ 交付決定件数：0 件（8 月 31 日現在）
（参考 令和7 年度：延べ3 件）

エ 海外駐在員による企業誘致活動

企業誘致施策「セレクト神奈川NEXT」により海外から企業を本県に呼び込むため、海外駐在員が現地で誘致活動を実施

- ・誘致活動件数：71 件（8 月 31 日現在）

（参考 令和 7 年度：延べ 209 件）

オ 独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ）と連携した取組

海外 56 か国に 76 の事務所を有するジェトロと連携し、ジェトロの海外事務所が発掘した対日投資有望企業のうち、本県進出に関心がある企業に対し、誘致活動を実施

カ 海外での外国企業誘致セミナー

外国企業の県内誘致を図るため、海外における誘致プロモーションを実施

KANAGAWA FESTIVAL in HANOI 2026 神奈川投資セミナー

- ・開催予定日：令和 8 年 11 月 13 日
- ・開催地：ベトナム・ハノイ

（参考 令和 7 年度）

神奈川投資セミナー

- ・開催日：令和 7 年 7 月 17 日
- ・開催地：韓国・京畿道
- ・参加者数：約 100 名

KANAGAWA FESTIVAL in HO CHI MINH 2025 神奈川投資セミナー

- ・開催日：令和 7 年 11 月 12 日
- ・開催地：ベトナム・ホーチミン
- ・参加者数：約 100 名

キ 外国企業の定着支援

県内進出後の外国企業を支援するため、「外資系企業サポートセミナー」を開催（開催日等は調整中）

（参考 令和 7 年度）

外資系企業事例紹介セミナー

- ・開催日：令和 8 年 1 月 22 日
- ・参加者数：27 名

(2) 県内中小企業の海外展開支援

ア 海外展開を希望する県内企業への個別支援件数 (件)

区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (8月31日現在)
経済動向等に係る情報提供	424	385	263
海外展示会への出展支援	204	180	54
現地企業の紹介等	71	65	17
工業団地の視察アレンジ等	37	15	10
合計	736	645	344

※参考 (支援企業数) (社)

区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (8月31日現在)
計	264	187	173

イ 主な取組の状況

(7) 海外の経済動向等に関するセミナーの開催

a 令和7年度の実施状況

地域別	実施回数 (回)	参加者数 (人)	備考
アジア	1	61	ベトナムビジネスセミナー (9月)
北米	1	80	米国・メリーランド州との連携によるセミナー (4月)
欧州 ほか	4	323	ウクライナ復興支援ビジネスセミナー (5月) アフリカビジネスセミナー (7月) エジプトビジネスセミナー (7月) ドイツビジネスセミナー (12月)
地域別 以外	3	137	ライフスタイル関連商品輸出セミナー (7月) 神奈川県海外駐在員報告会 (10月) 海外展開セミナー -コンテンツ産業の新潮流とビジネス展開- (1月)
計	9	601	—

- b 令和8年度の実施状況及び予定（8月31日時点）
- (a) 「日独ビジネスセミナー」
県の友好提携先であるドイツ・バーデン＝ビュルテンベルク州と連携し、AI や量子技術分野をテーマとしたセミナーを開催
・開催日：令和8年4月17日
・参加者：35名
- (b) 「米国販路開拓セミナー」
（公財）横浜企業経営支援財団（IDEC）と連携し、米国販路開拓をテーマとしたセミナーを開催
・開催日：令和8年4月23日
・参加者：20名
- (c) 「ASEAN ヘルスケアセミナー」
成長が見込まれるASEANのヘルスケア産業に係る市場動向や販路開拓をテーマとしたセミナーを開催
・開催日：令和8年5月15日
・参加者：59名
- (d) 「東南アジア 人材・経済セミナー」
（公財）湘南産業振興財団と連携し、県内中小企業の海外展開支援や外国人高度人材採用支援の取組みなどをテーマとしたセミナーを開催
・開催日：令和8年6月19日
・参加者：33名
- (e) 「海外販路開拓セミナー」
食品及びライフスタイル関連商品の輸出をこれから始めたい と考えている県内中小企業向けのセミナーを開催
・開催日：令和8年7月7日
・参加者：29名
- (f) 「ベトナムビジネスセミナー」
（公財）神奈川産業振興センター（KIP）、（株）横浜銀行などと連携し、ベトナムビジネスセミナーを開催（「概況・人材編」と「実務編」の2回実施）
- a' 「ベトナムビジネス・人材セミナー」（概況・人材編）
・開催日：令和8年9月8日
・参加者：50名

b) 「ベトナム進出セミナー」 (実務編)

- ・開催日：令和8年9月18日
- ・参加者：64名

(g) 「タンザニア・東アフリカ共同体ビジネスセミナー」

タンザニア大統領府に赴任する JICA 専門家の一時帰国の機会を捉えて、タンザニアの投資環境等を紹介するセミナーを開催

- ・開催日：令和8年9月14日
- ・参加者：20名

今後も KIP やジェトロと連携し、県内中小企業に向けて情報提供を実施

(イ) 海外展示会等での共同出展支援及び現地企業との商談会等の開催

a 令和7年度の実施状況

地域別	実施回数 (回)	参加企業数 (社)	備考
アジア	9	44	重慶グローバル半導体産業展覧会 (5月) FBC アセアン 2025 ものづくり商談会(9月) タイ・ビジネス商談会 (9月) ベトナム FOOD EXPO 2025 (11月) The Japan Rail Fair 2026 (2月) ほか
北米	1	9	NY NOW Summer 2025 (8月)
欧州 ほか	2	11	「伝統と先端と」～日本の地方の底力～ (11月) フランスにおけるライフスタイル関連商品等の 販路開拓支援 (2月)
地域別 以外	1	34	輸出商談会 in 神奈川 (9月)
計	13	98	

b 令和8年度の実施状況及び予定

(a) 「NY NOW Summer 2026」

- ・開催日：令和8年8月2日から4日まで
- ・場 所：米国・ニューヨーク
- ・参加企業：8社

(b) 「半導体設備・材料・コア部品展示会」

- ・開催日：令和8年8月31日から9月2日まで
- ・場 所：中国・江蘇省

- ・参加企業：4社
- (c) 「輸出商談会 in 神奈川」
海外への販路を持つ食品及びライフスタイル関連の輸出商社や海外バイヤーと、県内中小企業との商談会を開催
 - ・開催日：令和8年9月1日
 - ・参加企業：36社
- (d) 「Americas Food & Beverage Show & Conference」
 - ・開催日：令和8年9月14日から16日まで
 - ・場 所：米国・フロリダ州
 - ・参加企業：5社

今後は令和8年11月に米国・ロサンゼルス州及びベトナム・ホーチミンで食品関連企業の共同出展、令和9年1月にインド・バンガロールで製造業関係の共同出展を予定するほか、KIPや海外駐在員が現地企業との商談会等を開催するなどして、現地での販路開拓等を支援

- c 海外展示会への出展等助成
(公財)神奈川産業振興センターを通じた、海外展示会の出展料及びPR動画の作成費等に対する助成
 - ・交付決定件数：33件（北米7社、欧州14社、ベトナム3社、その他アジア6社、その他1社、PR動画作成2社）
 - (参考 令和7年度：延べ23社)
- (f) 「神奈川インダストリアルパーク事業」の実施
県内中小企業の進出ニーズが高いベトナムにおいて、6つの工業団地及び2つのオフィス運営会社と連携し、進出の準備段階から操業後まで総合的にサポートする「神奈川インダストリアルパーク事業」を実施
 - a 連携する工業団地
 - (a) 第二タンロン工業団地（フンイエン省）
 - (b) ドンバンⅢ工業団地（ニンビン省）
 - (c) フォーノイA工業団地内
IDI第1、3レンタル工場（フンイエン省）
 - (d) タンキム工業団地及びタンキム拡張工業団地内
KIZUNA Ready サービス工場（タイニン省）
 - (e) 第三タンロン工業団地（フート省）
 - (f) キンバンI工業団地（ニンビン省）

b 連携するオフィス

(a) FLESTA Serviced Office (ハノイ市)

(b) ZENPLAZAサービスオフィス及びM. O. R. Eビルレンタルオフィス (ホーチミン市)

c 進出企業の状況 (平成27年度からの累計)

進出企業：14社

(e) 神奈川県企業会

既に海外に進出している県内中小企業を対象として、現地での事業展開を支援するため、海外3か国（ベトナム、タイ、中国）でビジネスセミナーや企業視察、企業交流会などを実施

(3) 海外事務所

ア 現行配置

区分	東南アジア事務所	北米事務所	大連・神奈川経済貿易事務所
配置先	シンガポール	米国・ニューヨーク	中国・遼寧省
所管地域	アセアン各国 (※1)、インド	米国、カナダ メキシコ	中国、台湾等の 東アジア
運営者	県・ジェトロ	県・ジェトロ	KIP
赴任期間	2年間 (※2)	2年間 (※2)	3年間

※1 インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ、ブルネイ、ベトナム、ラオス、ミャンマー、カンボジア
なお、ベトナムに海外事務所を設置することに伴い、令和9年度からは東南アジア事務所の所管からベトナムを削除する

※2 同じ職員がシンガポール及びニューヨークに各2年間赴任
なお、今後は、それぞれの事務所に別の職員が赴任するとともに、かつ赴任期間を3年間に変更予定

イ 主な業務

(ア) 外国企業誘致プロモーション活動

現地での対日投資案件の発掘及び個別企業訪問等を通じ、外国企業の本県誘致を促進

(イ) 県内中小企業の海外展開支援

海外展示会や商談会での現地支援等を通じ、県内中小企業の販路拡大及び直接進出を支援

(ロ) 現地ビジネス情報の収集及び提供

(エ) その他本県の海外関連事業に関する連絡調整 等

ウ ベトナムへの海外事務所の設置

(ア) 所在地

ベトナム・ハノイ市

(イ) 所管地域

ベトナム

(ロ) 運営者

K I P

(エ) 職員体制

3名（所長（県職員）、副所長（K I P職員）、現地職員）

(オ) 赴任予定日

令和8年10月1日